

Activities:  
Windows® Internet Explorer® 8  
*Beta 1 for Developers*



Web 作業の操作性を向上

2008 年 3 月

詳細について (報道関係者専用)  
Rapid Response Team  
Waggener Edstrom Worldwide  
(503) 443-7070  
[rrt@waggeneredstrom.com](mailto:rrt@waggeneredstrom.com)

このドキュメントに記載されている情報は、このドキュメントの発行時点におけるマイクロソフトの見解を反映したものです。マイクロソフトは市場の変化に対応する必要があるため、このドキュメントの内容に関する責任をマイクロソフトは問われないものとします。また、発行日以降に発表される情報の正確性を保証できません。

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示、黙示または法律の規定にかかわらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。

お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

© 2008 Microsoft Corp. All rights reserved.

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、ActiveX、Active Directory、Internet Explorer、Internet Explorer のロゴ、MSN のロゴは、米国 Microsoft Corp. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載されている会社名、製品名には、各社の商標のものもあります。

## 概要

Activities とは、任意の Web ページからサービスにすばやくアクセスするためのコンテキスト メニュー オプションです。ユーザーは通常、ある Web ページから別の Web ページにコピー アンド ペーストします。Internet Explorer 8 の Activities では、この一般的な動作を従来以上に簡単に行えます。

Activities には、通常 2 つのタイプのシナリオがあります。Web ページ内の情報を「調べる」として、Web アプリケーションに Web コンテンツを「送る」とことです。例として、あるレストランに興味があり、その店の場所を調べたいと考えているユーザーを考えてみましょう。これは「調べる」Activity です。ユーザーは店のアドレスを選択し、お気に入りの地図サービスを利用して地図に示された場所を表示します。



次は「送る」Activity の例です。ある記事を読んだユーザーが、その内容に関してブログに書き込みを行うとしましょう。ユーザーは記事の一部分を選択し、ブログ Activity を使用できます。この Activity では、ユーザーのブログ サイトに移動し、そのサイトでは既に編集フィールドが開いて選択した記事が利用できるになっています。

ユーザーは、ページのコンテンツを選択すれば Activity にアクセスできます。たとえば、ユーザーが Web ページに表示されたアドレスを選択すると、[Activity] ボタンが表示されます。代わりに、コンテキスト メニューを開いても Activities にアクセスできます。また、Activities は、[Page Command (ページ コマンド)] バーの、現在の Web ページおよびリンクのコンテキスト メニューにあるページ内のリンクでも利用できます。

Activities は、ユーザーがインストールして管理できるサービスです。ユーザーは [Internet Explorer 8 Service Guide](#) から、または Activities を宣伝する Web サイトを介して Activities をインストールできます。

Activities は XML ファイルを使用して記述されています。この XML ファイルでは、ブラウザが URL テンプレートを介してサービスと通信を行うしくみを示すインターフェイスが提供されています。Web ベースのサービスは、作成、テスト、ユーザーへの展開が容易にできるため、XML ベースの Activities を利用する必要があります。

このセクションでは、XML Activity の作成と展開について説明します。

1. **XML フォーマット** : Activity は、Open Service Description と呼ばれる XML フォーマットを使用して指定されます。
2. **Category** : Activities は、ユーザーに対してカテゴリに基づきグループ化されます。Explorer 8 Beta 1 for Developers には、追加作業の既におなじみのカテゴリが搭載されています。必要に応じて新しいカテゴリを追加すれば、サービスの使い勝手が向上します。
3. **HTTP Submission** : XML ベースの Activities は、HTTP GET/POST 要求で開始されます。
4. **Preview** : Activity は、コンテキスト内プレビューで表示できます。これは、サービスが提供する必要のある効果的なアイデアをユーザーが簡単に得られる小型の Web ページです。
5. **Localization** : 各 Activity XML ファイルは、ロケールを表しています。
6. **Deployment** : Activities は Web サイトから利用でき、ユーザーがインストールできるようにします。
7. **Sample** : カット アンド ペーストで利用できるサンプルが用意されています。

## 1. OpenService Activity フォーマット

XML ベースの Activity は、OpenService Activity と呼ばれる XML フォーマットで記述されます。これらの Activities は XML の一部として指定される HTTP 要求を介して機能します。このセクションでは、OpenService Activity フォーマットの別のエレメントおよび値を説明します。

### OpenService Activity フォーマット

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<openServiceDescription
  xmlns="http://www.microsoft.com/schemas/openservicedescription/1.0">
  <homepageUrl>http://maps.live.com</homepageUrl>
  <display>
    <name>Map with Live Maps</name>
    <icon>http://www.live.com/favicon.ico</icon>
  </display>
  <activity category="map">
    <activityAction context="selection" >
      <preview action=" http://maps.live.com/geotager.aspx">
        <parameter name="b" value="{selection}" />
        <parameter name="clean" value="true" />
        <parameter name="w" value="320" />
        <parameter name="h" value="240" />
        <parameter name="format" value="full" />
      </preview>
      <execute action=" http://maps.live.com/default.aspx">
        <parameter name="where1" value="{selection}" type="text" />
      </execute>
    </activityAction>
  </activity>
</openServiceDescription>
```

```
</activityAction>
</activity>
</openServiceDescription>
```

Activities の XML 名前空間は次のとおりです。

<http://www.microsoft.com/schemas/openservicedescription/1.0>

フォーマットに対するメイン コンポーネントは次のとおりです。

- **homepageUrl**
- **display**
- **activity**

#### **homepageUrl**

カテゴリ付きのホームページ URL は、Activity の ID として使用されます。

<b>homepageUrl</b> エlement	必須	ブラウザの操作を介してユーザーがサービスにアクセスできる Activity のメイン URL。このフォーマットで表される URL はすべて <b>homepageUrl</b> のドメインに一致する必要があります。
----------------------------	----	---

#### **display**

ユーザーに対してどのように Activity が表されるのかを示します。

<b>display</b> エlement	必須	次の Element のコンテナ Element です。
<b>name</b> エlement	必須	ユーザーに対して表示される Activity の名前。規則としては、最初に動詞で、後にアプリケーションが続きます。 例：「Map on Windows Live」、「Define with Encarta」など。
<b>icon</b> エlement	オプション	Activity の 16x16 ピクセル アイコンへの URL。
<b>description</b> エlement	オプション	機能の短い説明。

## activity

このセクションでは、Activity の機能を説明します。

<b>activity</b> エlement	必須	機能のコンテナ エlement。
<b>category</b> 属性	必須	<b>activity</b> エlementの属性。  各 Activity は、提供する機能のタイプを説明するカテゴリを指定します。Activities は、ユーザーが希望するタイプの操作にすばやくアクセスできるように、カテゴリごとに編成されます。ユーザーは、指定したカテゴリに対して既定の Activity を選択します。すべての既定の Activities は、UI で最初に表示され、他のすべての Activities はオーバーフロー UI で一覧表示されます。  Activity に対して正しい割り当てを行うには、 <a href="#">エラー! 参照元が見つかりません。</a> のセクションをお読みください。
<b>activityAction</b> エlement	必須	Activity は 1 つまたは複数のデータ タイプで動作可能です。各 <b>activityAction</b> は、データ タイプに基づいて機能を指定します。ここには <b>preview</b> エlementと <b>execute</b> エlementが含まれます。
<b>context</b> 属性	オプション	<b>activityAction</b> エlementの属性。  データ タイプ (「selection」、「document」、または「link」) を指定します。既定値は「selection」です。
<b>preview</b> エlement	オプション	ユーザーが Activity を選択したときに表示される Activity HTML ウィンドウ。詳細については、 <a href="#">Preview</a> のセクションをお読みください。
<b>execute</b> エlement	必須	ユーザーが Activity を呼び出したときの主な機能。
<b>method</b> 属性	オプション	<b>preview</b> および <b>execute</b> エlementの属性。  使用する HTTP メソッドのタイプ (「get」または「post」)。規定値は「get」です。
<b>action</b> 属性	必須	<b>preview</b> および <b>execute</b> エlementの属性。  HTTP Submission で使用する URI テンプレートです。
<b>enctype</b> 属性	オプション	<b>preview</b> および <b>execute</b> エlementの属性。  サーバーに送信されるコンテンツのタイプです。既定値は「application/x-www-form-urlencoded」です。
<b>accept-charset</b> 属性	オプション	<b>preview</b> および <b>execute</b> エlementの属性。  サーバーに送信される文字セットのタイプです。既定値は「utf-8」です。

## 2. カテゴリ

Activities は、ユーザーが希望するタスクにすばやくアクセスできるように、タイプごとにグループ化されています。ユーザーは、Activity をインストールするとき、または管理 UI を介して、指定したカテゴリの既定の Activity を決定します。

次に、Internet Explorer で使用されるいくつかのカテゴリと、既存のサービスの例を示します。

**map:** Windows Live Map, Google Maps, Yahoo! Maps, Mapquest

**blog:** Windows Live Spaces, Windows Live Writer, Blogger

**define:** Encarta, Wikipedia, Dictionary.com

**add:** Del.icio.us, Reddit, Google Reader

**translate:** Windows Live Translation, Babelfish, Google Translation

ご使用の Activity が推奨カテゴリにそぐわない場合、独自のカテゴリを定義できます。次の例では、カテゴリ「share」を定義しています。

```
<activity category="share">
```

カテゴリは、ユーザーが認識できる動詞で定義する必要があります。また、似通った機能の Activities がそのカテゴリを使用できるように、特定のブランドまたはアプリケーションに連携させないでください。

## 3. HTTP Submission

ユーザーが選択するコンテンツは、HTTP GET/POST Submission を介して「送られ」ます。サービスはドキュメントのプロパティおよびユーザーの選択内容を変数として取得します。これらの変数は、アクション URL の一部として、またはフォームベースのパラメータを介して Activity XML ファイル内に表示されます。

HTTP 要求の一部として、状態およびユーザーの証明書を保存するために cookie を使用できます。

利用可能な Activity 変数を次に示します。

- **documentDomain**
- **documentTitle**
- **documentUrl**
- **link**
- **linkDomain**
- **linkRel**
- **linkText**
- **linkType**
- **selection**

変数は、**{documentUrl}** のように中括弧で囲みます。たとえば、**{documentUrl?}** のように、変数名の後に「?」を使用すれば、オプションとして指定できます。オプション変数の値を空白として指定するには、空のテキスト文字列を使用します。

**インライン パラメータ** : URI テンプレートを介したサービスへの入力を指定します。

```
<execute method="get"
action="http://example.com/done.aspx?url={documentUrl}&title={documentTitle?}" />
```

この例では、**documentUrl** が必須変数で **documentTitle** がオプション変数です。**documentTitle** の値が空の場合、空の文字列を使用します。**documentUrl** の値が空の場合は、Activity はエラーを生成します。

**フォームベース パラメータ** : 名前と値のペアを介したサービスへの入力を指定し、HTTP 形式の Submission に似ています。HTTP POST 要求を作成するとき、または HTTP GET 要求が URL 文字制限より長くなりそうなときに役立ちます。

これに基づいた例は次のとおりです。

```
<execute method="post" action="http://example.com/done.aspx"
  <parameter name="url" value="{documentUrl}" />
  <parameter name="title" value="{documentTitle?}" />
</execute>
```

名前と値のペアを一覧表示するには、**parameter** エレメントを使用します。

変数がオプションとして示され、値が空の場合、オプション変数の値は空の文字列になります。変数が必須で、その変数の値が空の場合、名前と値のペア全体がフォーム Submission から省略されます。

また、**action** 属性および **parameter** エレメントを使用すれば、サービスの使用状況を追跡できます。この追跡を行うには、Internet Explorer 8 からであることを示す値を持たせた特別なパラメータを追加します。

```
<execute method="post" action="http://example.com/done.aspx"
  <parameter name="url" value="{documentUrl}" />
  <parameter name="source" value="IE8" />
</execute>
```



## 4. プレビュー

Activity では、ユーザーのポインタが Activity に重なったときに HTML プレビューをオプションで表示できます。この動作は、地図、場所の定義または翻訳、格付けや関連コンテンツへのリンクをすばやく取得するのに便利です。

プレビュー ウィンドウは、軽量のインタラクションに使用する必要があります。使用目的は、ユーザーが詳細情報を得るために完全な Web ページを表示するように、サイトに誘導することです。ユーザーが Activity メニュー項目またはプレビュー ウィンドウ内に用意したリンクをクリックすると、この動作が行われます。

プレビュー機能は、preview エlement内の Activity XML で表されます。ポインタを重ねたとき、Internet Explorer は HTTP GET/POST 要求を作成し、HTML プレビュー ウィンドウ内に結果の HTML を表示します。

**サイズ**：プレビュー ウィンドウの解像度は、96 DPI ディスプレイで 320 × 240 です。この領域の外側のすべてのコンテンツは表示されなくなります。スクロール バーでのコントロールを表示するコンテンツを挿入することはお勧めできません。プレビュー機能はユーザーが情報をすばやく表示できるようにすることを目的としており、過度にインタラクションに引き込むことは目的としていないからです。

**ホストされるコンテンツ**：プレビューでは、Activity のドメインへのサンドボックスが設定された JavaScript がサポートされます。また、コントロールが既にユーザーによって指定ドメインにインストールおよび選択されている場合、ActiveX コントロールもサポートされます。フォーカスされるコントロールは、このウィンドウでは動作しません。

- <select>
- <input type="text">
- <text area>

**プレビュー ウィンドウ内でのナビゲート**：ユーザーはハイパーリンクを使用して、プレビュー ウィンドウ内をナビゲートできます。

**完全 Web ページへのナビゲート**：ユーザーを完全 Web ページにナビゲートするには、新しいウィンドウで開くリンクを設定します。この方法には 2 つあります。

- ハイパーリンクの一部として、target 属性が「\_blank」となるように設定します。ユーザーが呼び出すと、Internet Explorer 8 により新しいタブとして開きます。

```
<a href="gotosite.html" target="_blank">view full site</A>
```

- [open method](#) を使って、入力 URL をユーザーのナビゲート先のサイトに設定します。

```
<FORM>
  <INPUT
    type="button"
    value="view full site"
    onClick="window.open('gotosite.html')" />
</FORM>
```

## 5. Localization

1 つの Activity XML ファイルは、1 つのロケールにマップします。使用しているサービスが複数のロケールをサポートする場合、各ロケールに対して個別の XML ファイルを用意する必要があります。Activities の宣伝に使用する Web ページから、ユーザーのロケールを使用して、ユーザーがインストールするための正しい XML ファイルを表示する必要があります。

category エレメントの値は、ローカライズする必要があります。たとえば、地図サービスをサポートする Activity のカテゴリは英語で「map」ですが、スペイン語では「mapa」となります。

### 英語の例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<openServiceDescription
  xmlns="http://www.microsoft.com/schemas/openservicedescription/1.0">
  <homepageUrl>http://maps.live.com</homepageUrl>
  <display>
    <name>Map with Live Maps</name>
  </display>
  <activity category="map">
  ...
</openServiceDescription>
```

### スペイン語の例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<openServiceDescription
  xmlns="http://www.microsoft.com/schemas/openservicedescription/1.0">
  <homepageUrl>http://maps.live.com</homepageUrl>
  <display>
    <name>Mapa con Live Maps</name>
  </display>
  <activity category="mapa">
  ...
</openServiceDescription>
```

ユーザーは複数のロケールがインストールされた状態で Activities を使用できますが、その場合すべてのロケールが表示されます。

## 6. Activities の提供方法

Activities は自分の Web ページからも利用できます。Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers は、Web ページによるアクセスが可能な新しいブラウザの API を介した OpenService Activity ファイルのインストールを処理します。

最初の手順として、ユーザーがアクセス可能なサーバー上で発行された OpenService Activity XML ファイルを作成します。次の手順では、ユーザーが頻繁に閲覧する Web ページから [Install (インストール)] ボタンを追加します。ユーザーが現在、Activity をインストールしているかどうかをチェックできます。

```
window.external.IsServiceInstalled(http://maps.live.com/GetMap.xml, "map");
```

チェックが正常に完了したら、Web ページのドメインを OpenService Activity XML ファイルで指定される URL のドメインに一致させる必要があります。チェックが失敗した場合、Web ページに [Install (インストール)] ボタンが表示されます。

```
window.external.AddService("http://maps.live.com/GetMap.xml");
```

Internet Explorer 8 では、[Service Guide](#) Web ページを介した一般的な Activities も使用します。ご使用の Activity がこの Web ページでの要件を満たしているかどうかは、Internet Explorer 8 の問い合わせ先にお尋ねください。

## 7. サンプル

次に、Web サイトにホストできる map Activity の簡単な例を示します。

**Activity XML ファイル**：次のサンプル コードをテキスト エディタにコピーし、GetMap.xml という名前を付けて保存します。このコードでは、[OpenService Activity フォーマット](#)セクションで指定したように、Activity の機能が記述されています。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<openServiceDescription
  xmlns="http://www.microsoft.com/schemas/openservicedescription/1.0">
  <homepageUrl>http://maps.live.com</homepageUrl>
  <display>
    <name>Map with Live Maps</name>
    <icon> http://www.live.com/favicon.ico</icon>
  </display>
  <activity category="map">
    <activityAction context="selection" >
      <preview action=" http://maps.live.com/geotager.aspx">
        <parameter name="b" value="{selection}" />
        <parameter name="clean" value="true" />
        <parameter name="w" value="320" />
        <parameter name="h" value="240" />
        <parameter name="format" value="full" />
      </preview>
      <execute action=" http://maps.live.com/default.aspx">
        <parameter name="where1" value="{selection}" type="text" />
      </execute>
    </activityAction>
  </activity>
</openServiceDescription>
```

**[Install (インストール)] ボタンのホスト**：Activity を宣伝するには、次の一連のコードを Web サイトに追加します。

```
<button onclick="window.external.addService('<path> /GetMap.xml')">Add
Map Activity</button>
```

## テスト

1. Web サイトの [Install (インストール)] ボタンをクリックして Activity をインストールします。これにより、インストールのダイアログが起動します。
2. [**Make this my default provider** (既定のプロバイダに設定する)] チェックボックスをオンにします。Activity を Activities のリストの一番上に表示する設定になります。
3. 住所を含むサイトに移動します。
4. 住所を選択し、マウス カーソルの隣に表示されるボタンをクリックします (代わりに右クリックすると、コンテキスト メニューが表示されます)。
5. ポインタを「Map with Live Maps」Activity の上に重ねます。map Activity のプレビューが表示されます。
6. 「Map with Live Maps」Activity をクリックします。新しいタブで開いた map Web サイトにナビゲートします。

## 8. 既知の問題

- Web ページが IE8 Standards モードになっていると、Activities ボタンが表示されません。ユーザーは、コンテキスト メニューを開いて selection Activities にアクセスする必要があります。